

【自分で作れるフェイスシールド（2wayシールド）の作り方】

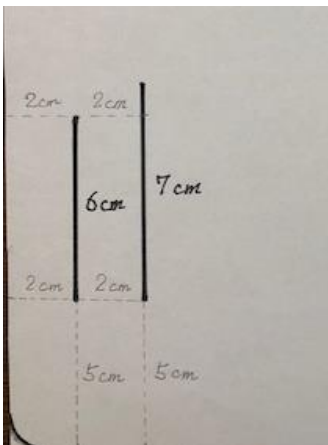
※感染予防の目的で手作りされる方は参考にしてください。

実用新案登録第 3229007 号：販売目的でのご利用はお控えください。

- ① オーバーヘッドプロジェクター(OHP)に使用する OHP フィルムを用意する。



- ② A4 サイズのフィルムの端から 2.5cm のところに印をつけカッターで切断し、



フィルムの幅を 295mm→270mm に修正。

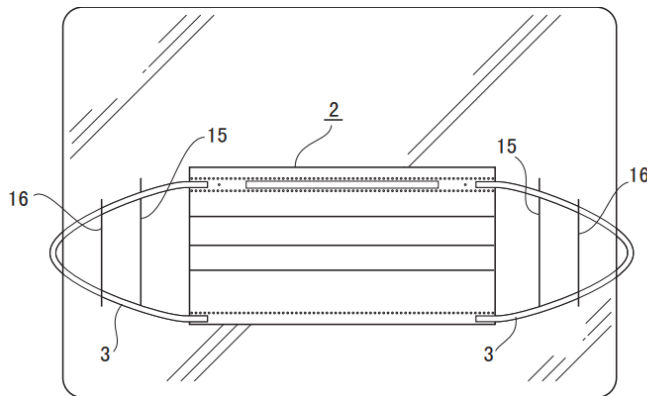
次に端から 2cm のところに印を付けそこから垂直に 5cm 上方に印を付ける。さらに 6cm 上方まで実線を引く、同様に端から 4cm のところに印を付けそこから垂直に 5cm 上方に印を付ける。さらに 7cm 上方まで実線を引く。両端を 2つ折に合わせて、2箇所の実線部分をカッターで切る。

- ③ フィルムの角の 4箇所を廃棄時にビニール袋が破れないようにまるめる。

- ④ フィルムの使用方法

フィルムを上下反転することで「マスク装着タイプ」と「めがね装着タイプ」の 2種類の使い方が可能。

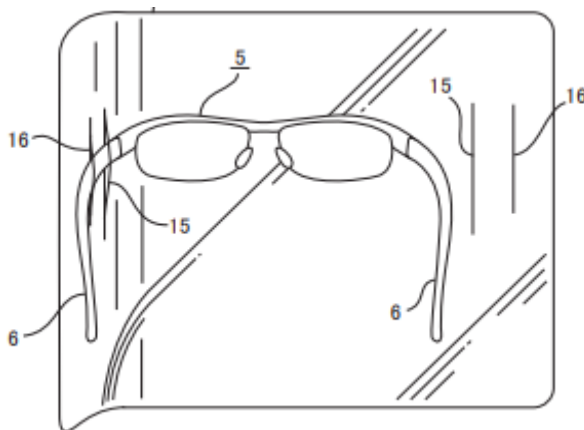
【マスク装着タイプ】 クラスタ対策としての使用を推奨



切れ目 16 のところからマスクのゴムを通して使用。S サイズのマスクを使用する場合は切れ目 15 のところからマスクのゴムを通して使用。

【めがね装着タイプ】 熱中症対策としての使用を推奨

フィルムを上下逆さにして 2 箇所（15, 16）にめがねの柄を通して使用。可動域を設定しているため、フィルムが上方に移動するため水分補給可能。水分補給後はフィルムの自重で元に戻る。水分補給が必要なスポーツ観戦時や各種イベントでの使用を推奨。食事も可能となるため外出時の感染予防にも利用できる。



※商品使用方法の動画などの概要は以下の URL か、QR コードをご参照ください。

<https://2wayshield.com/>

